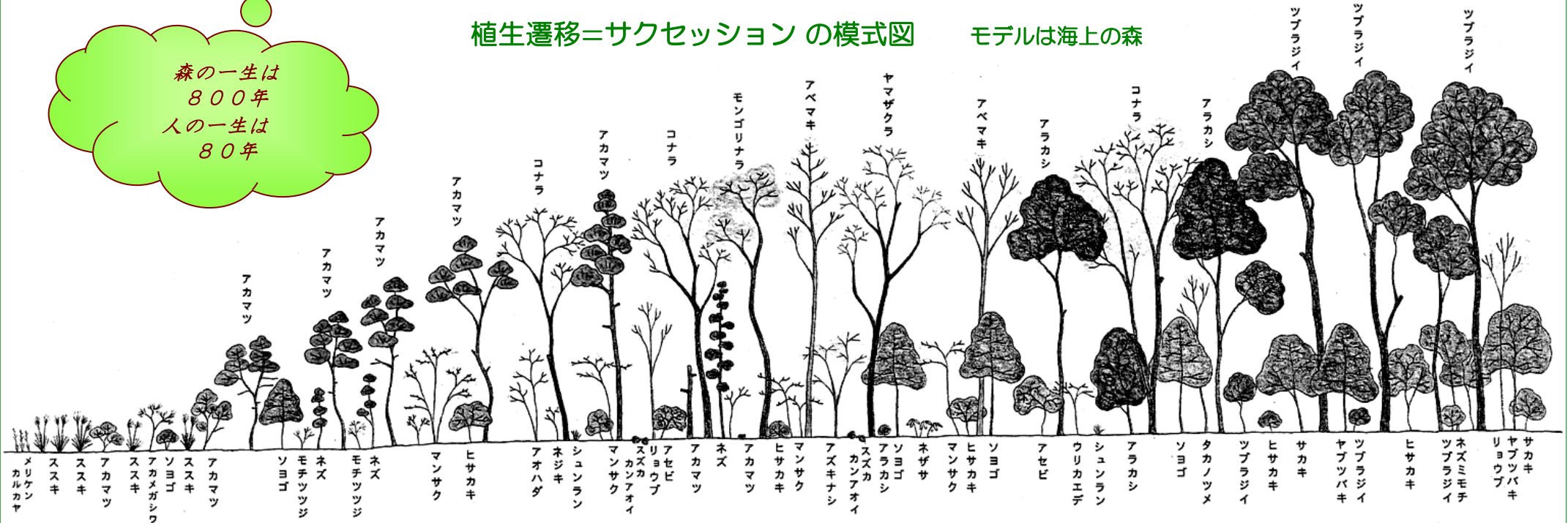


自然の森は動いている

森の一生は
800年
人の一生は
80年

植生遷移=サクセッションの模式図

モデルは海上の森



裸地からアカマツ林まで・・・20～50年くらいかかる

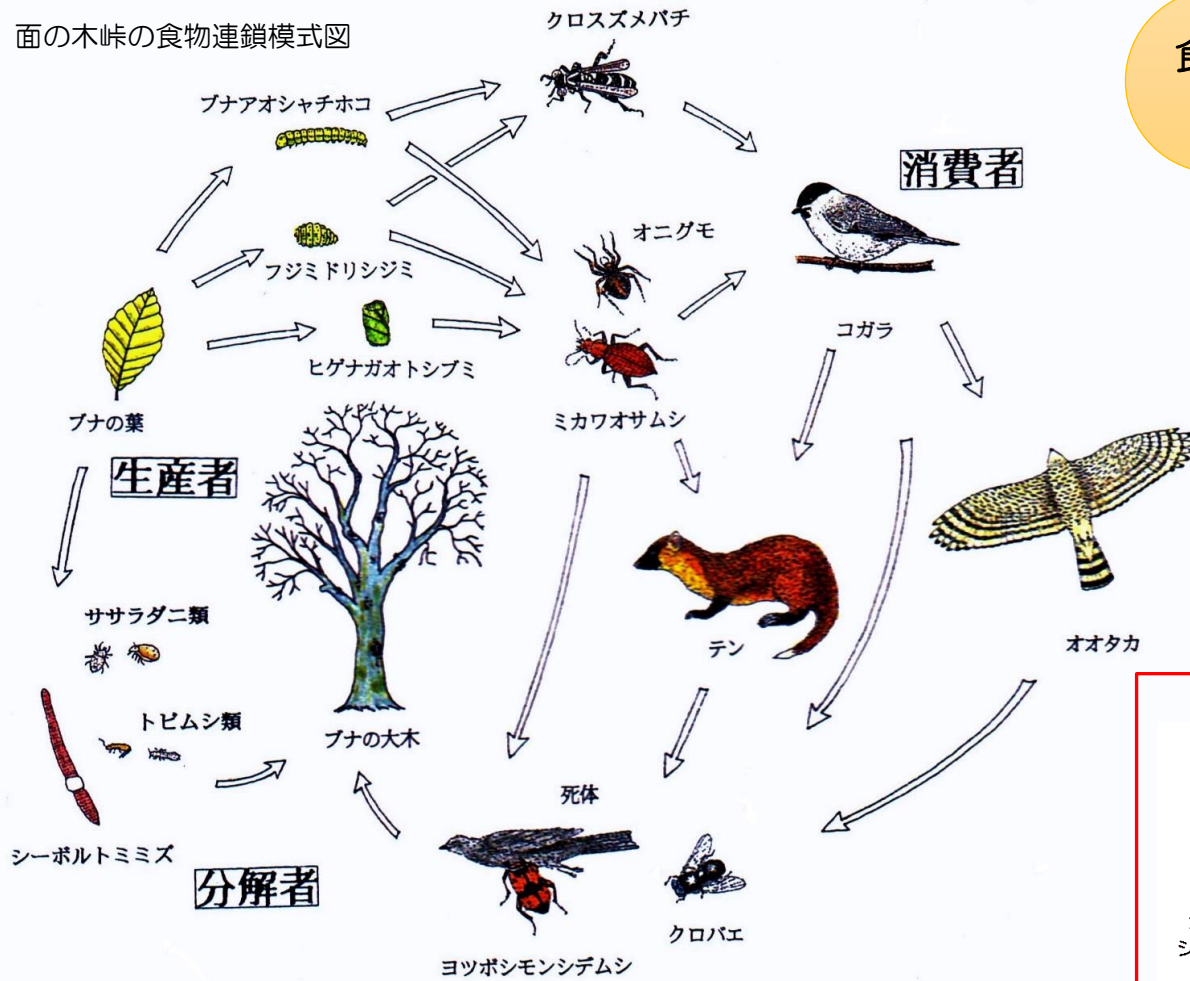
裸地からコナラ・アベマキ林まで・・・80～100年くらいかかる

裸地からシイ林まで・・・200～300年くらいかかる

- ① 森林が完全に裸地化されると、まず風散布型種子の草本植物が侵入する。
- ② その中に、アカマツ・アカメガシワやモンゴリナラなどの先駆植物的性格の樹木が侵入し、やがてアカマツ林を形成する。
- ③ アカマツ林となって土壌が安定すると、コナラ・アベマキやヤマザクラなどの肥料分を好む樹木が侵入し、混交林となる。
- ④ 日陰に弱いアカマツは徐々に衰退し、やがて、コナラーアベマキ林となる。
その頃には、日陰に耐えられるアラカシ・シラカシなどとツブラジイの実生苗が侵入する。
- ⑤ 常緑性ブナ科樹木と夏緑性ブナ科樹木の混交林となり、やがて、より日陰に強い常緑樹林に替わり、極相林に達する。
この地域の極相林では、一般的にツブラジイが森の中心を占め、周辺にカシ類が生育する事例が多く見られる。

「日本どんぐり大図鑑」(北岡明彦監修)
「とよた森林学校」講座資料などから作成

面の木峠の食物連鎖模式図

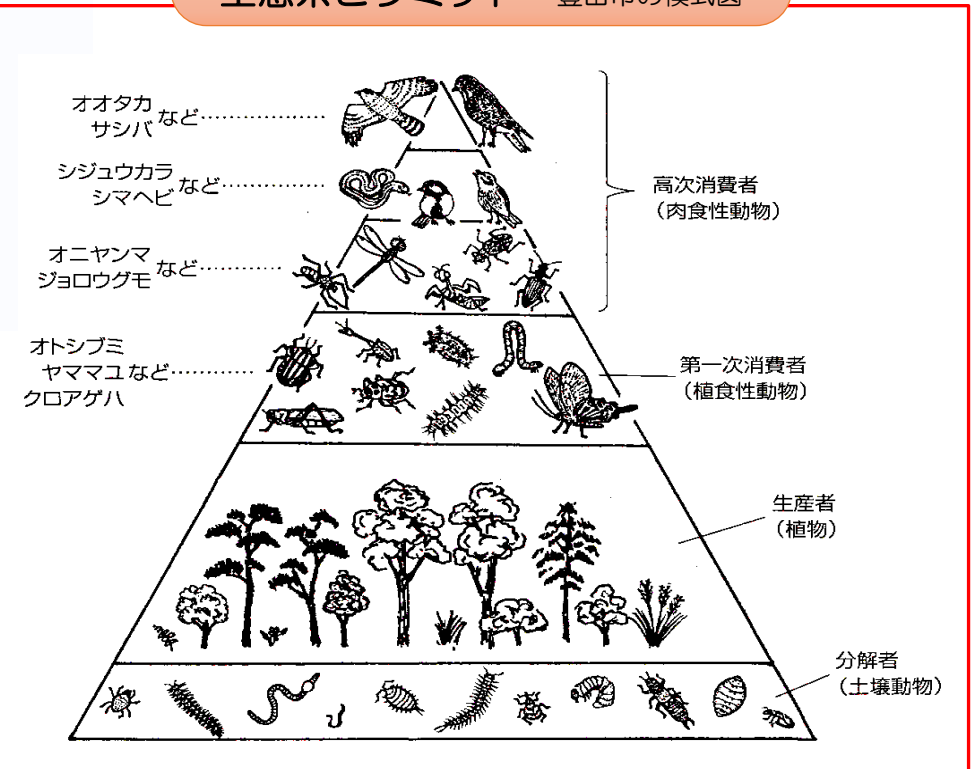


食物連鎖＝フードチェーン
～食べる・食べられるの関係～

エネルギーの
受け渡し

- 植物は光エネルギーを化学エネルギーに変えて糖などの有機物として貯蔵 → すべての生物が太陽エネルギーを利用することを可能にする
 - 土壌生物は生物遺体の有機物を取り込み分解 → 地中に無機物を供給する → 水に溶けて植物に取り込まれる
 - 生物の社会は植物と土壌生物が支える 動物は自然界の「にぎわい」 ヒトもまた にぎわいの中の一員にすぎない
- 「自然のしくみ・植物」(1979年/愛知県)より

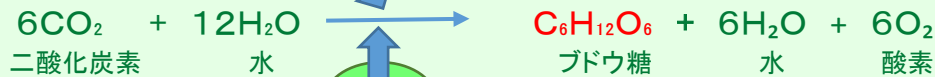
生態系ピラミッド 豊田市の模式図



光合成



太陽光エネルギー 688kcal



葉緑素

「矢作川流域森林物語」(2007年/豊田市)などによる